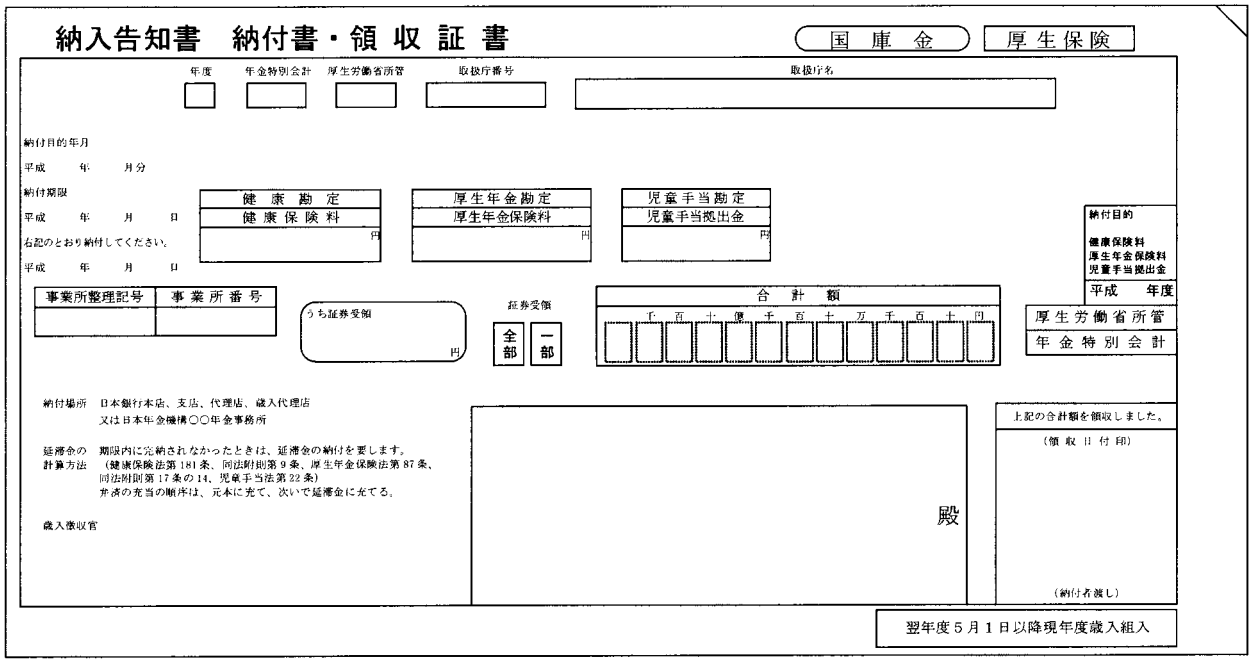
第三片



備考

1　用紙の寸法は、各片ともおおむね縦11cm、横21cmとすること。

2　各片は、左端をのり付けその他の方法により接続すること。

3　各片に共通する事項（あらかじめ印刷する事項を除く。）は、複写により記入すること。

4　別紙第４号書式の備考４は本書式に準用する。この場合において、別紙第４号書式の備考４中「取扱庁名欄の番号」とあるのは「取扱庁番号欄」と読み替えるものとする。

5　第１片領収済通知書の中央上部欄の①欄から⑥欄には、光学式文字読取装置を使用して事務処理をするために必要な項目として、「郡市区（①欄）」、「事業所符号（②欄）」、「納付目的年月分（③欄）」、「調定種別（④欄）」及び「勘定別保険料額の読取りの際の確認に関する事項（⑤欄及び⑥欄）」をアラビア数字で記入すること。

6　納入告知書として使用するときは「納付書」の文字を、納付書として使用するときは「納入告知書」の文字を抹消すること。

7　納入者に本書式に係る納付情報により納付させようとするときは、当該納付に必要な事項を記載すること。

8　必要があるときは、本書式による処分についての審査請求等の教示を記載することができる。

9　必要があるときは、各欄の配置を著しく変更することなく所要の変更を加えることその他所要の調整を加えることができる。